

右京の福祉活動を発信！

ウェル BOX 右京 2023

地域
福祉の
玉手箱



ウェル BOX右京は、右京区の「優しい活動」を
多くの方に知っていただき、ともに活動に参加し
て欲しいという思いで発行しています。
住む人たちが帰ってきたいと思えるまち、何気な
い優しさが広がるまち、安心して暮らせるまちの
情報を伝えします。

令和5年度 右京区社協・賛助会員 ご加入のお願い

令和4年度
賛助会費の使途内訳

30%
区域の地域福祉
活動のために

賛助会費の
使途

12,548,485円

30%
学区社協への
還付金

40%
学区社協
助成金

誰もが安心して暮ら
せる福祉のまちづくり
のために、地域の福
祉活動をすすめる財
源に、ご協力をお願い
します。

教えて
教えてー



社会福祉協議会とは？

社会福祉協議会（以下、社協）は、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域福祉の推進の役割を担い、さまざまな活動をおこなう非営利の民間組織です。京都市では市・区・学区の三層の社協活動を推進し、学区社協が最前線となり居場所づくりや見守り活動、相談事業等を展開し、市・区の社協が学区社協活動の後方支援を行っています。

コロナ禍であっても地域の絆を絶やさない活動を継続すべく、感染予防策をとりながら、出来る内容を工夫して活動を再開しています。

教えて
教えてー



賛助会員制度とは？

右京区社協では、区民の皆様のご理解と参加・応援のもと、区社協と学区社協が取組む地域福祉活動を充実させるため、賛助会員を募集しています。賛助会員とは、区社協と学区社協の活動の趣旨・目的に賛同し、区内の地域福祉活動を財政的にご支援いただく「地域福祉の応援団」です。



「花に囲まれ、参加者の話も弾みます。活動の場として開いてもらえることでたくさんの人が集うことができる。こうした場を提供してくれることがありがたい」と北梅津社協の南会長。

（日）令和5年4月16日
（日）梅宮大社北庭園にて、「花見のつどい」を開催。天候にも恵まれ多くの学区民の交流の機会になりました。コロナ禍前には地域住民はもちろん、地域内の高齢者施設の利用者も参加され、たくさんの方が楽しく花見をしながら会話をする場となりました。



「地域にあるお宮として、地域の人と協力し、馴染みのある神社にしていきたいと思っています」と、梅宮大社の宮司さん。

「身近な地域を応援する
賛助会員さん」に
おうかがいしました。
北梅津社協 × 梅宮大社

北梅津社協の活動を応援！

《個人情報の保護について》

本会は、社会福祉法人京都市右京区社会福祉協議会「個人情報保護規程」により、個人情報の適正な取得と管理に努めます。（賛助会員募集にあたってお受けした個人情報は、募集事務のみに利用し、それ以外に使用することはありません。また、その管理につきましても適正に行います）



《賛助会員募集期間》 令和5年12月～令和6年2月

《賛助会費》

個人一口 500円／年（1口以上）

団体・企業一口 10,000円／年（1口以上）

※納入方法は、お住まいの学区によって異なります。詳しくは、学区役員などお世話いただく方等にお尋ねください。

※個人・団体・企業等で、領収書（税控除付、区社協会長名）が必要な場合は、区社協にお尋ねください。



対話ボランティア

福祉の世界に飛び込まなければ、出会わなかつた人がいる。つながりは、思いやりから生まれ、優しい絆へとなつていく。

だんだんと「カタチ」にしてきた活動

4ヵ月に1回の全体ミーティングで話し合います。



京北・対話ボランティア

みます。年をとることはいいことだと感じます。活動しているのではなく楽しませてもらっていますね」。

自分たちが「楽しい」と思える活動

栗山さん「心に残る訪問は、徐々に物忘れがすすみ、警戒して家にいれてもらえなかつた。『あなたたちだれっ?』て」。
戸田さん「そうそう。だから、玄関先で庭の話をしたりして関係を作つていきました」。
佐伯さん（以下敬称略）「傾聴だと相手が話してくれないと続かないし、関係性がつくれないと、遠慮してしまう。それで『京北は対話ボランティアをしよう!』ということになりました」。

栗山「高齢者のためになにかしたいとう思いで始めましたが、最初はなかなか活動が根づかず、メンバーの入れ替わりも激しかつたです」。
佐伯「今はボランティアも増えました。無理なく、細く長く…と続けています。『だれかいませんか』『私いまよか』と、みんなの動きが見えるよう、LINE上でやり取りしています。重要な事は、

栗山「訪問の際は、寄つてみました、遊びにきました、通りがかりました、というスタンスでやつています。昔の写真を用意してくれていて、話が弾んで…。時間になると『帰らんとして』『ずっといて』『毎日来てほしい』と。別際がつらくなりますね」。
佐伯「一対一ではなく、二人体制で訪問します。利用者交えて、いっぱいしゃべつて、仲良くなりります」。

戸田「私はよそから来て京北に住んでいます。人づきあいが苦手で、ものすごく勇気をもつてこの活動にいれてもらいました。仕事を引退したら、外とつながりがなくなる。何かしなければと。他のメンバーと比べて自分は年配なので、話をしていると『そうそう!』と話しが弾



▲ボランティア同士の会話も弾む

今日の訪問先

大正 12 年生まれの磯部綾野さんは 9 月で 100 歳になられました。笑顔が素敵で大勢の家族と穏やかに暮らしておられます。同じ村で育った夫の金市さんはやんちゃで有名だったので、ふたりの結婚は村の七不思議と言われたそうです（笑）。ベッドで過ごすことが多くなったけれど、来客が多く、毎日楽しく過ごしておられます。特に、月 2 回の対話ボランティアの日は、笑い声がいっぱいです。



人と人のつながりのある新しい世界がある

右京の福祉ビト



誰もが経験する「人生の転機」。日々の生活の中でも急に訪れることが多い「人生の転機」。西谷さんも、これまで、「知りたい」「やってみたい」と情熱に心動かされ、京都動物愛護センターのボランティア、大学への再入学、キャットシッターなど様々な分野で活動の幅を広げてきた。譲渡会などに参加しながら、多くの人の助けを借り、NPO 法人を立ちあげた。

「キャットシッターの活動が役に立つかもしれない」そう思えたのは、ある母子世帯との出会いだった。母親は物忘れの症状があった。子は、大好きな猫を

飼い、母親の身の回りのことも引き受けられない、母親の身の回りのことも引き受けられない、「猫好き」から「猫好き」へ

「キャットシッターの活動が役に立つ

かもしれない」そう思えたのは、ある母

の症状があつた。子は、大好きな猫を

飼つていていた老夫婦がいらっしゃる。

に応募した。

支援仲間と変化



「猫を飼つていてる老夫婦がいらっしゃる」

とあります。

「つながらり」が

できる。「つ

ながらり」が

できる。

生まれるもの



西谷さんも活動する

生活支援員募集

募集

募集

募集

募集

募集

募集

募集

募集

募集



「キャットシッターの活動が役に立つ

かもしれない」

右京の障害福祉を支える専門職たち



右京区には、障害者支援に携わる事業所がたくさんある。生活介護、通所施設、グループホームなど。聞いたことはあるけれど、なぜか少し遠くに感じる障害のある方の生活を家族とともに支える福祉のヒーローたちにスポットを当ててみたい。

01

高齢者の居場所・子どもの居場所づくり

高齢者と子どもの居場所 「情報交換会」

～自らの活動を「ステキ」に魅せるために～

令和5年7月6日(木)、右京区内で活動する高齢者と子どもの居場所を運営する団体が分野関係なく交流・情報交換を行う機会として実施した情報交換会には21名の参加があった。講師は、「右京じかん」を手掛けるNPO法人みのりのもり劇場。取材経験の失敗談も踏まえて写真を撮る際のコツや広報にかける想いを語ってくださいました。「情報発信はコミュニケーションであり、自分が情報発信したい相手に合わせることが大切」と語る森さん。チラシ、SNSと今や広報1つにしても多種多様な時代だが読み手にとって一番分かりやすくなることは変わらない。参加者間同士の交流の時間も熱気に包まれたものとなった。



02

嵐山ハッピーモーニング

毎月第3曜日の9時30分、嵐山小学校のふれあいホールで実施されるハッピーモーニングは高齢者だけでなく、子ども達にも大人気だ。コロナ禍の休止、テイクアウト販売を経て今年の5月からは会場飲食も再開。地元のパン屋さん「マルシェ」のパン、「うずまさ学園」の焼菓子、コーヒーに舌鼓を打ちながら話す参加者の皆さんを前にスタッフも安どの表情を浮かべる。無理せずに継続することを目標としつつ、コロナ禍で始められたワークショップや地域包括支援センターによる高齢者相談コーナー。「新しいことにチャレンジしながら、コロナ以前の参加者にも再び足を運んでもらい、多世代の居場所になれば…」そんな思いやりと工夫が詰まっている。



03

ぶらっと梅津

梅津富士園デイサービスを会場に毎月第2土曜日の13時30分に開催される「ぶらっと梅津」は、認知症や物忘れが気になる方とその支援者が訪れる、専門職やボランティアと共に憩いの時間を過ごしている。提供されるコーヒーは梅津の「喫茶ヒロタ」の豆を使用し、毎回のレクリエーションも梅津にゆかりのある方を多く呼んでいる。いわば梅津ワールドが広がる中、認知症や生活に関する困りごとは専門職がしっかり受け止め体制が整っている。「認知症に対して地域と共に歩むカフェを目指したい」と話す梅津包括の岡村さん。令和5年3月に開始した新しい取組は、「友達と一緒にここに来るのが楽しみです」と参加者にとって既に日常の一部となっている。



NPO法人加音
西京極作業所
北村所長

障害のある方の生活を豊かにするために、研鑽を重ねる
障害の種別・年齢を超えて区内の障害の事業所がつくる「右京障害者就労・生活事業所ネットワーク」通称U-ネット。事業所の職員がお互いに情報交換をしながら、障害のある方が地域に出て社会経験を積む機会や、研修会などの啓発の機会を通じて「地域で暮らす障害のある方」の理解を進める取組を行っている。中でも、他の事業所の職員同士が交流しながら、障害者福祉への学びを深める「福祉学習会」への熱い思いには、圧倒される。

「年齢を重ねる」こと、将来を考える親の亡き後の当事者の生活すべては、地域で暮らす障害のある方が安心した暮らしを送れるように

生活事業所がつくる「右京障害者就労・生活事業所ネットワーク」通称U-ネット。事業所の職員がお互いに情報交換をしながら、障害のある方が地域に出て社会経験を積む機会や、研修会などの啓発の機会を通じて「地域で暮らす障害のある方」の理解を進める取組を行っている。中でも、他の事業所の職員同士が交流しながら、障害者福祉への学びを深める「福祉学習会」への熱い思いには、圧倒される。

をどう考えていいのかの相談を受けることが増えた」加音西京極作業所北村所長が話す。「親御さんと一緒にいくつかのグループホームを見学に行つた。行けば行くほど、多様で自分自身も知らないことが多い」。作業所は通りの場。生活の場の知識を深めたいと、思いを語る。U-ネットで一緒に活動している事業所ではグループホームの運営をしている事業所もあり、話を聞くことになつた。

地域福祉活動へのご寄付をいただきありがとうございました。
(令和4年8月～令和5年7月)

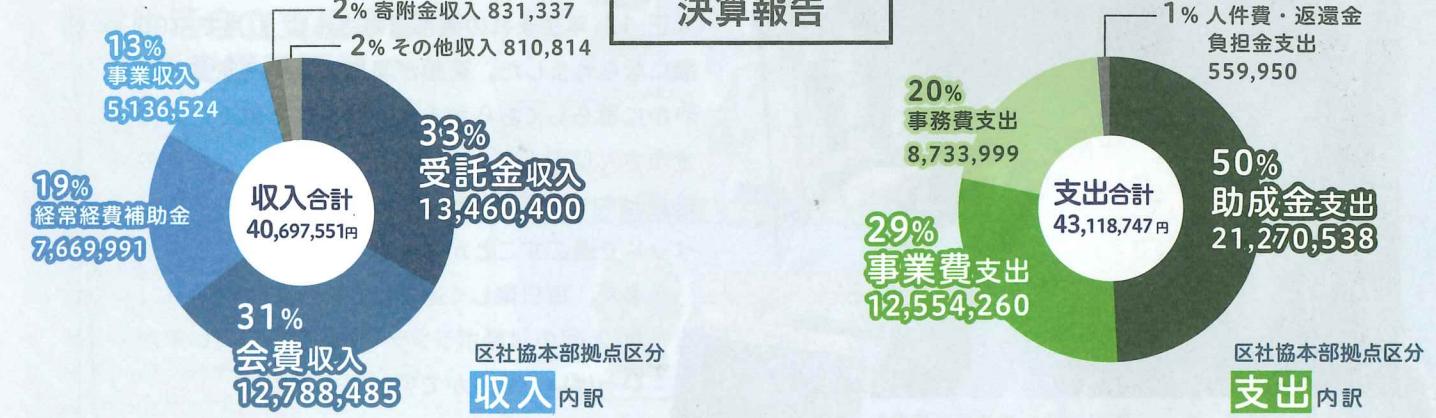
- 吉川 寛 様
- 高橋 伸夫 様
- 大島 智子 様
- 高山建設(株)代表取締役 高山 義雄 様
- 株式会社 信天堂 様
- 京北グラウンドゴルフクラブ 様
- 京建労 右京支部京北分会 様
- 太秦農事研究会 様

正しく学び、支援の質を向上させることで、障害のある方の生活がより豊かになることにつながる。右京の障害者福祉は、たくさんの障害者福祉のヒーローたちに支えられている。

すまさ学園の竹内所長は言う。職員が正しく学び、支援の質を向上させることで、障害のある方の生活がより豊かになることにつながる。右京の障害者福祉は、たくさんの障害者福祉のヒーローたちに支えられている。

「コロナが落ち着いたら、事業所間を行き来して、職員が他を見て刺激を受けるような機会を持った」と京都府うどくめいぐく。

令和4年度 決算報告



待ってました！みんなの元気の源

南太秦

会場の南太秦自

治会館には楽しそ

うな笑い声。同じ

南太秦学区に住む

5人の筋トレボラ

ンティアのメンバー

がウォーミング

アップや筋トレ、

脳トレと役割を

もって参加者の

前に立つ。



南太秦筋トレボランティアさん



体操の間も笑い声や会話を楽しんでいます

身体を動かす
中にも、
笑いあり笑顔あり

「和気あいあいと楽しみながらするの
が、いいんです。参加者も教えるみんな
はなかなか体も動かす機会がなく、
みんなで集うからこそ、やろう！」

という気分になるんだと思います。
体を動かした後はなんだかすっきり
軽くなっていますよ」と笑顔で話す

メンバーのみなさん。

も。楽しくないと続かないでしょ
う？」コロナの影響で、定期的に
行っていた筋トレサロンを休止し
ていた間も、参加者からは、「いつ
から始まる？」と再開をここに待
ちにする声があった。「家で一人で
はなかなか体も動かす機会がなく、
みんなで集うからこそ、やろう！」

という気分になるんだと思いま
す。体を動かした後はなんだかすっきり
軽くなっていますよ」と笑顔で話す

メンバーのみなさん。

南太秦すこやかサロン
開催日：毎月第2・4月曜日
10時～11時30分
場所：南太秦自治会館
参加費：100円



嵐山

秋晴れの空の下、「楽しみにしてきた
よ！」と嵐山小学校ふれあいホールに
次々に人が集まる。「よく来てくれたね

♪」と社協ボランティアの皆さんのが声を

かける。嵐山学区社協が主催するすこ
やかサロンは、コロナでの休止期間を経

て、令和5年に再開した。

交流の機会を通じて、 再び地域のつながりを

「待ってました！」の参加者
の声を受け止め、今年からつ
いに健康すこやか学級事業が
再開！どなたもお気軽にご参
加いただけます。「会話と運動
に一緒に取り組みましょう！」
魅力的なボランティアさんや、
参加している地域の方と出会
いもお楽しみに。

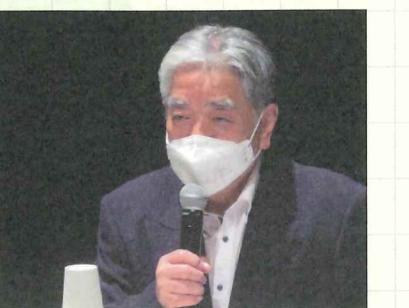


みんなで楽しく学びましょうと呼びかける
森会長

高齢者に必要な栄養について講話

すこやかサロン嵐山！
開催日：不定期（町内回覧等で周知）
14時～15時30分
場所：嵐山小学校
ふれあいホール ※変更の場合あり
参加費：無料

健康すこやか学級事業とは…
高齢者がお住まいの地域の中で、
安心して参加できる介護予防を目的とした集いの場です。



左京区
八瀬学区社会福祉協議会
いわま ゆたか
会長 岩間 豊氏

活用しています！
避難行動
要支援者名簿

第35回 右京区福祉のまちづくり学校 平時の見守りから考える 災害時の協力体制と課題

令和5年9月1日（金）、9月とは思えない暑さ
の中、86名の地域福祉関係者に参加いただき、「まち
づくり学校」を開催しました。今年度は、華頂短期大学 武田
康晴教授の講演の後、右京区役所健康長寿推進課、八瀬学区社会福祉協
議会 岩間豊会長から報告を受け、会場ともディスカッションを行いました。
避難行動要支援者名簿の活用・避難所運営の工夫・京都DWAT（※）の活動
について学びを深めることができました。



華頂短期大学
たけだ やすはる
教授 武田 康晴 氏

武田先生よりまとめ

プロセスが大切

見守り名簿やマップがあるか、
ないかも大事だが、それを作っ
ていくプロセスが大切です。例えば、マップへの掲載を拒否する方もいらっしゃいますが、地域の方とそういったやり取りをすることで、「避難所はどこにあるのかな」と意識したり、顔を会わせて関係を作るプロセスとなります。そういう行動が絆を作り、災害に強い地域を作ることになります。

作ったら使おう！

今回ご報告いただいた八瀬学区がすごく優れているところは、実際に名簿を使い、さらに充実させる取り組みをしている点です。マップとリストを結び付けて使いやすいものを最初から作られている。使うことを前提とした取組は大切です。

平時の中でも考えていく

災害に特化して深く考える視点も大切ですが、それだけを考えてモチベーションとしては持ち続けにくいので、平時の取組の中で、例えば孤立の問題、安否確認の問題、看取りの課題等を視野の中に、災害のキーワードを必ずしていくのが大事ではないかと思います。

見守り活動を見る化 八瀬学区の見守りマップ

八瀬学区では、普段の見守り活動で把握した情報と避難行動要支援者名簿の活用を合わせて見守りマップを作成し、『いざという時』に備えています。普段の活動と災害を意識した取組が循環していることが特徴です。「地域で世帯の状況を共有するツールとして見える形にした」と報告がありました。

△マップにはタンカや車いすといった避難時に必要な情報が付記される。



区分	色
独居世帯	オレンジ色
老々世帯	黄色
障害のある方がおられる世帯	ピンク色
母子世帯	青色

「大きな災害が起きたら…」と思ってはいても、日常の活動に取り入れることは大変です。防災訓練だけでなく、日々の活動の中に防災や災害を「さりげなく入れていく工夫」が大切と思いました。

レポートした人
京都市右京区社会福祉協議会
ながた じゅんpei
永田 潤平 事務局長

「参加者は人生の先輩。たくさんの方
と一緒にすることは大変だけど、みんなで意見を出し合いながらできることを、出
来る人がする」「皆さんとの出会いの中
で得られたことも多く、一員になれてう
ささやかな取組かもしれないが、高齢
者が集い、交流できる機会。できる形
で実施をしたいと思った」と、嵐山学
区協森会長。もともと実施の拠点と
していた福祉施設への配慮もあり、新
たな場所の確保からのスタートだった。
嵐山すこやかサロンは、あたたかい雰
囲気に包まれ、学びあり、交流ありの
つどいの場になっている。

現在は、午後からの実施で、これまでより短時間で行うプログラムだが、内容は工夫が盛りだくさん。この日は「食べること」にスポットを当て、食欲の秋と、高齢者の低栄養を掛け合わせた講話が行われた。

一人では頑張れない。
でも仲間がいるから